

圓福寺報

別冊

圓福寺報 第四十五号別冊
平成十八年一月一日発行
発行者 臨濟宗妙心寺派 圓福寺
千葉市稲毛区穴川町三七五 (二五)九二八一
<http://www.bnet.co.jp/enpukuji/>
E-mail: enpukuji@ome.bnet.co.jp

平成十七年は、幼稚園の新築工事などで、秋の寺報を発行できませんでした。そこで、寺報四十五号の別冊として、十七年下半期の主な行事を写真中心にまとめました。ご覧いただければ幸いです。



平成17年7月23日～24日

第14回禅童会

2 ページ



平成17年7月28日

宗達禅士本山得度式

4 ページ



平成17年8月1日

新園舎上棟式

6 ページ



平成17年10月16日

市原野外コンサートの夕べ

7 ページ



平成17年11月6日

仏前結婚式

8 ページ



月日	時間	日程	
7月23日	10:00	受付	
	10:15	開会式	
	10:45	準備体操	
	11:00	食事作法の指導 坐禅の指導	
	12:00	斎座(昼食)	
	午後	1:00	レク(ろうそく作り)
		2:30	坐禅
		3:30	茶礼(スイカ割)
		4:30	休憩
		5:00	お経の練習(般若心経)
6:00		薬石(夕食)	
6:30		坐禅	
7:30		レク(映画)	
8:30		開浴(お風呂)・就寝支度	
10:00		消灯・就寝	
7月24日	5:30	起床・片付・洗面	
	6:00	朝のお勤めと坐禅	
	7:00	粥座(朝食)	
	午前	8:00	ボランティア
		9:00	レク(ろうそく作り)
		10:00	うどん作り
	11:00		
	12:00	斎座(昼食)	
	午後	1:00	茶礼(茶道体験)
		1:30	感想文
		2:30	後片付けと掃除
		2:45	閉会式
3:00		解散	

いをいただきお疲れ
になったことと思
います。無事、回を重
ねることができ、本
当にありがとうございました。



それでも、参加すれば、厳しい中にもすいか
割りがあったり、うどん作りを体験できたり
と、楽しい行事も盛りだくさんでした。
また、禅の食事作法でいただく食事では、食
べ物に対してあらためて考えさせられました。
た。なんととっても坐禅では、自分との対話が
もとめられ、ごまかしがきかないことを身を
もって経験したことと思います。
花園会の有志の方々には、宿泊してのお手伝
いをお願いいたします。



第十四回禅童会
が七月二十三日と
二十四日の一泊二
日の日程で開催さ
れました。
毎年参加してい



すいか割り	禅の食事作法
お経の練習	坐 禅
茶道体験	うどん作り

宗達禪士、本山合同得度式 —— 妙心寺派僧侶となる



白衣姿で入堂する。この時点ではまだ衣は着けられない。緊張している子や、恥ずかしそうな子ども、初々しさにあふれている。

臨席の住職といえども、人の子。カメラやビデオでわが子の晴れの姿を追っていた。



本山みんざうでん微妙びょう妙殿めいに、得度する沙弥しゃみが勢ぞろい。今年しんねんは男女二十五名が全国から集まった。

今年四月に圓福寺にて剃髪した宗達君の得度式が、七月二十八日に大本山妙心寺にて執り行われました。

この得度式を終えて、正式に僧侶としての籍が妙心寺に登録されます。それまでは、宗達君だったのが、宗達禪士ぜんじと言われるようになります。「禪士」は、修行僧の称号で、住職資格を得ると「和尚禪師」さらに「和尚大禪師」、「禪師代和尚」と位が上がると称号も変わっていきます。

得度にあたり、今までお世話になった方々に、「四恩」の礼拝を致します。お釈迦さまやお釈迦さまの教え、育ててくれた父母、地球や自然などの恵み、そしてすべての生き物の四つに対し、いちいち礼拝をしました。父母への礼拝では、どちらの親御さんも感銘少なからざるものがあつたと思います。

得度の戒律を授けてくださったのは、前管長様の臥雲庵松山寛恵老大師。「これからの妙心寺派を担う人材の晴れの門出」とのお言葉をいただき、子どもながらも身が引き締まる思いだったようです。

衣を身につけ、戒師様から「安名」という僧名をいただき、また、教学部長さんからは妙心寺派の籍ができたということで、職状をいただき、二十五名の僧侶が誕生いたしました。引き続き、二十九日まで学徒研修会が開催さ



「四
恩」の
礼拝を
行
う。



両親や師匠に対しての礼
拝。わが子ながらも、ちよつ
と立派に見える瞬間です。

一人ひとり戒師様の前に進ん
で、安名をいただく。



得度式を終え、妙心寺大方丈の前で記念撮影。
役員さん、ご両親、奥さんといっしょに。



れ、坐禅や開山様へのお参り、妙心寺散策、法
話などの研修をしました。
圓福寺からは、役員さんが得度式に参列して
ください、宗達禅士の門出を見守ってください
ました。宗達禅士のご両親や奥さんも感慨ひと
しおだったと思います。

新園舎上棟式



四月より始められた幼稚園の工事も、旧園舎の解体、整地、「地鎮祭」、基礎工事と順調に進められ、八月一日に「上棟式」を迎えることができました。



園児たちの献灯献花にはじまり、祈祷太鼓の響きに合わせたの般若心経、そして上棟を祝い、工事の安全を願う上棟回向が読み上げられ、続いてもちまきが始められました。
 今ではあまり見られなくなった「もちまき」を園児たちにも体験してもらおうと呼びかけたところ、親子で四百人以上の参加者が集まり、盛大な式となりました。たくさんのお菓子やおもちがまかれ、久しぶりに子どもたちの歓声が境内に響き渡った日でした。
 新しい園舎に夢が膨らんだことでしょう。

市原野外コンサートの夕べ



十月十三日(日)、圓福寺市原別院(仮称)用地を会場にして、野外コンサートの夕べが開催されました。
心配された雨もかろうじて上がり、百二十名余もの人が、新巻太鼓を聞きながら、舌鼓も打ちました。



本場韓国のチヂミも、鉄板で焼かれ、国際色も豊かでした。
尺八の響きも、大草原にはぴったりでした。



隣接の新巻地区の太鼓とお囃子は、残念ながら雨が心配されたため、室内でのご披露でしたが、広い敷地にも響き渡りました。
樽酒の心地よさに、自らアンコールもしてくださり、拍手喝采を浴びていました。
樽酒の香りに誘われて・・・
山で獲れたイノブタのバーベキュー。



地蔵盆が休みだったので焼きそばを焼けなかった福田さんは、差し入れのホタテを焼きました。



当日は、圓福寺花園会の方々、敷地整備を手伝ってくれた方々、地元の町会はじめ手打ちそば同好会や近在の方々が集まり、市原別院(仮称)用地のお披露目式といった感でした。
これからも地元の方々との交流を図りながら、花園会の活動や幼稚園の活動を繰り広げて行きたいと考えております。



【現地情報】

小湊鉄道「上総三又駅」から東に3k、日当たり良好、敷地内10m道路完備、良質井戸水あり、水洗トイレ完備、シャワー室、露天風呂あり、野生動物多し、近くでホテルも見られる。

【当日のメニュー】
イノブタ・ホタテ・イカ・牛肉のバーベキュー、韓国チヂミ、イノブタの肉団子汁、地粉の手打ちそば、樽酒、ビール、焼酎、美味しい井戸水、その他

寿 仏前 結婚 式



列席者全員で「般若心経」をお読みし、本尊様・両家先祖にお参りをいたします。



新郎新婦は合掌にて入堂いたします。

粛々と進められた結婚式がめでたく円成し、両家そろっての記念撮影です。結婚式は、新郎新婦だけでなく、両家の方々の縁が結ばれる式でもあります。

戒師は、新郎新婦はじめ両家列席者の方々にお祝いの法話をいたします。新郎新婦出会いの縁、そして両親始め今いのちあることの縁、そしてこれからのちを紡いでいく縁などをわかりやすく話します。



式次第

- 一、列席者着席
- 二、新郎新婦入堂
- 三、戒師入堂
結婚生活を始めるにあたり、夫婦で守っていかねければならない仏様の戒めを授けてくれる導師を「戒師」といいます。
- 四、はじめの言葉
- 五、戒師焼香・礼拝
- 六、般若心経、本尊・両家先祖回向
結婚生活は、新郎新婦だけの縁ではなく、それぞれの先祖があつてのことで、両家の先祖に報告と感謝のお参りを致します。
- 七、啓白文奏上
これからの結婚の式で、本尊・両家先祖の前で、夫婦が互いに仏様の教えに従い、幸せになることを誓わせますと申し述べます。
- 八、浄めの儀
新郎新婦に芳しい香の浄水を授け、清浄に致します。
- 九、睦みの儀（指輪・壽数交換）
- 十、三帰依式
仏様の教えを受け、それを守っていくことを誓っていただきます。
- 十一、新郎新婦誓いの言葉
- 十二、壽盃の儀（三々九度の盃）
- 十三、戒師祝語
- 十四、普回向
喜びを普く一切に分ける言葉を唱えます。
- 十五、一同礼拝
- 十六、むすびの言葉
- 十七、一同退堂

戒師 圓福寺 宮田宗格和尚
 維那・司式 清宝院 香取光俊和尚
 介添 樹林寺 西脇利弘和尚